

実験ノート作成について

文責 鈴木良尚

研究生活に対する自己管理意識の向上のため、田村研究室においては H16 年度から実験ノートの作成をしてもらっています。また、来年度から試行される JABEE の審査に必要なデータとなります。対象は基本的に M2, M1, B4 ですが、Dr.コースの人の参加も歓迎します。

以下に、この実施内容について箇条書きにします。良く理解した上で、実施して下さい。

1. 実験ノートには、まずはじめに実験年月日、曜日、実験場所、天気、温度を記入する（入室・退室時間は必ず記入する事）。
2. 記載にはボールペン、万年筆など消えないインクの筆記用具を使用する。
3. 毎回、必ずその日行う実験のテーマ、その目的、実験方法を記入する。
4. 測定を行った場合、何を行ったかが分かるように書く。また、測定時間、測定の数値を必ず記入すること。特に測定時間は少なくとも分単位で記入すること。
5. その他、必要なことは全てもれなく記入すること。例えば、使用した機器、実験室の備品、実験条件、実験回数、温度、pH、実験材料、生じた結果、結果の意味するところ、計算などなど。
6. 実験から直接に得られる「一次資料」については、必ずノートに記載、もしくはデータの貼付等を行うこと。また、そこから作成されるグラフ、図等二次資料がある場合、例えば誤差はどのようなプロセスで出したのかといった、一次資料から二次資料へのプロセスを誰にでも分かる形でしっかり記述すること。
7. 標準的な測定方法等で、すでに参考文献等がある場合、その出所をきちんと押さえ、実験ノートに記述すること。
8. 各実験の最後に、実験結果の結論をだし、評価付けること。その評価に従って、次回の実験計画を立案すること。

以上を参考にしてできるだけしっかりとしたノートをとって下さい。